

# 第7期 計算書類

(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)

貸借対照表

損益計算書

株主資本等変動計算書

個別注記表

**GMOクリック証券株式会社**

# 貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資 産 の 部</b>		<b>負 債 の 部</b>	
<b>流 動 資 産</b>	169,697	<b>流 動 負 債</b>	158,190
現金及び預金	9,400	トレーディング商品	43
預託金	92,325	デリバティブ取引	43
トレーディング商品	180	約定見返勘定	19
商品有価証券等	158	信用取引負債	36,728
デリバティブ取引	22	信用取引借入金	16,507
信用取引資産	39,687	信用取引貸証券受入金	20,220
信用取引貸付金	25,587	預り金	8,333
信用取引借証券担保金	14,100	受入保証金	102,069
立替金	67	有価証券等受入未了勘定	0
短期差入保証金	18,766	受取差金勘定	1,183
支払差金勘定	7,161	外国為替証拠金取引顧客差金	714
外国為替証拠金取引顧客差金	7,159	外国為替証拠金取引自己差金	465
商品先物CFD取引顧客差金	2	商品先物CFD取引顧客差金	2
前払費用	171	商品先物CFD取引自己差金	0
未収入金	1,358	短期借入金	7,190
未収収益	198	リース債務	46
繰延税金資産	232	前受金	0
その他	211	未払金	1,101
貸倒引当金	64	未払費用	853
<b>固 定 資 産</b>	3,173	未払法人税等	199
<b>有 形 固 定 資 産</b>	682	賞与引当金	236
建物	75	役員賞与引当金	159
器具備品	540	資産除去債務	24
リース資産	66	<b>固 定 負 債</b>	127
<b>無 形 固 定 資 産</b>	1,058	リース債務	24
のれん	72	長期未払金	100
商標権	0	その他	2
ソフトウェア	803	<b>特別法上の準備金</b>	712
ソフトウェア仮勘定	182	金融商品取引責任準備金	712
<b>投資その他の資産</b>	1,432	商品取引責任準備金	0
投資有価証券	15	<b>負 債 合 計</b>	159,030
関係会社株式	513	<b>純 資 産 の 部</b>	
出資金	1	<b>株 主 資 本</b>	13,841
長期差入保証金	383	<b>資 本 金</b>	4,346
破産更生債権等	152	<b>資 本 剰 余 金</b>	3,223
長期前払費用	101	資本準備金	3,223
繰延税金資産	415	<b>利 益 剰 余 金</b>	6,271
その他	1	その他利益剰余金	6,271
貸倒引当金	152	繰越利益剰余金	6,271
<b>資 産 合 計</b>	172,871	<b>純 資 産 合 計</b>	13,841
		<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	172,871

# 損益計算書

〔 平成23年4月1日から  
平成24年3月31日まで 〕

( 単位：百万円 )

科 目	金	額
営業収益		15,384
受入手数料	2,886	
トレーディング損益	11,152	
金融収益	1,330	
その他の営業収益	16	
金融費用		723
<b>純営業収益</b>		<b>14,660</b>
販売費及び一般管理費		9,002
取引関係費	4,374	
人件費	1,387	
不動産関係費	1,028	
事務費	1,334	
減価償却費	611	
租税公課	197	
貸倒引当金繰入額	2	
その他	70	
<b>営業利益</b>		<b>5,658</b>
営業外収益		373
営業外費用		3
<b>経常利益</b>		<b>6,028</b>
特別損失		308
金融商品取引責任準備金繰入れ	205	
固定資産除却損	45	
事務所移転費用	39	
その他	17	
<b>税引前当期純利益</b>		<b>5,720</b>
法人税等		2,313
法人税、住民税及び事業税	2,363	
法人税等調整額	49	
<b>当期純利益</b>		<b>3,406</b>

## 株主資本等変動計算書

（平成 23 年 4 月 1 日から 平成 24 年 3 月 31 日まで）

	株主資本				純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金		
平成23年 4 月 1 日残高（百万円）	4,346	3,223	5,039	12,609	12,609
当期変動額					
剰余金の配当			2,175	2,175	2,175
当期純利益			3,406	3,406	3,406
当期変動額合計（百万円）	-	-	1,231	1,231	1,231
平成24年 3 月31日残高（百万円）	4,346	3,223	6,271	13,841	13,841

## 個 別 注 記 表

当社の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書は「会社計算規則」(平成18年2月7日法務省令第13号)の規定のほか「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年内閣府令第52号)及び「有価証券関連業經理の統一に関する規則」(昭和49年日本証券業協会自主規制規則)に準拠して作成しております。

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

イ. トレーディング商品に属する有価証券(売買目的有価証券)

時価法を採用しております。

ロ. トレーディング商品に属さない有価証券

その他有価証券

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

匿名組合出資金の会計処理

匿名組合出資を行うに際して、匿名組合の財産の持分相当額を「投資有価証券」として計上しております。匿名組合の出資時に「投資有価証券」を計上し、匿名組合が獲得した純損益の持分相当額については、営業外損益に計上するとともに同額を「投資有価証券」に加減する処理を行っております。

デリバティブの評価基準及び評価方法

時価法を採用しております。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く)

定率法を採用しております。ただし、建物(建物付属設備を除く)については、定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は、次のとおりであります。

建物 3年~50年

器具備品 4年~20年

無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。なお、ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

## リース資産

### 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が平成 20 年 3 月 31 日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を行っております。

## 長期前払費用

定額法を採用しております。

## (3) 引当金及び準備金の計上基準

### 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

### 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、当事業年度の業績を勘案して算出した支給見込額を計上しております。

### 役員賞与引当金

役員に対する賞与の支給に備えるため、当事業年度の業績を勘案して算出した支給見込額を計上しております。

### 金融商品取引責任準備金

有価証券の売買その他取引またはデリバティブ取引等に関して生じた事故による損失に備えるため、金融商品取引法第 46 条の 5 の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」第 175 条に定めるところにより算出した額を計上しております。

### 商品取引責任準備金

商品先物取引に関して生じた事故による損失に備えるため、商品先物取引法第 221 条第 1 項の規定に基づき、同法施行規則第 111 条に定めるところにより算出した額を計上しております。

#### (4) 収益及び費用の計上基準

##### 顧客を相手方とする外国為替証拠金取引の会計処理

顧客との間で行われる外国為替証拠金取引については、取引に係る決済損益及び評価損益、並びに未決済ポジションに係るスワップポイントの授受をトレーディング損益として計上しております。

なお、評価損益は、顧客を相手方とする外国為替証拠金取引の未決済ポジションの建値と時価の差額を取引明細毎に算定し、これらを合算し損益を相殺して算出しており、これと同額を貸借対照表上の外国為替証拠金取引顧客差金に計上しております。

また、顧客からの預り資産は、金融商品取引法第43条の3第1項の規定に基づき「金融商品取引業等に関する内閣府令」第143条第1項第1号に定める方法により区分管理しており、これを貸借対照表上の預託金に計上しております。

##### カウンターパーティーを相手方とする外国為替証拠金取引の会計処理

カウンターパーティーとの間で行われる外国為替証拠金取引については、取引に係る決済損益及び評価損益をトレーディング損益として計上しております。

なお、評価損益は、カウンターパーティーを相手方とする外国為替証拠金取引の未決済ポジションの建値と時価の差額を取引明細毎に算定し、これらを合算し損益を相殺して算出しており、これと同額を貸借対照表上の外国為替証拠金取引自己差金に計上しております。

#### (5) その他の計算書類の作成のための基本となる重要な事項

##### 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

##### 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理しております。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等は、長期前払費用として計上し、法人税法の規定により5年間で均等償却しております。

## 2. 会計方針の変更

### 追加情報

#### 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当事業年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

これによる計算書類に与える影響はございません。

## 3. 会計上の見積りの変更

当社が保有する本店事務所に係る建物附属設備は、平成24年5月7日付で本店の移転を予定していることから、移転に伴い利用不能となる資産について当事業年度において耐用年数を変更し、当該移転の決議を行った日から移転予定日までとしております。

また、現在の本店事務所の不動産賃貸借契約に係る原状回復義務に伴う資産除去債務についても、上記のとおり本店の移転に従い、当事業年度において償却に係る合理的な期間を変更し、当該移転の決議を行った日から移転予定日までとしております。

この変更により、従来の方法と比べて、当事業年度の営業利益、経常利益、税引前当期純利益が、それぞれ34百万円減少しております。



#### 4. 貸借対照表に関する注記

(1) 差入れている有価証券及び差入れを受けている有価証券の時価額	
差入れている有価証券の時価額	
信用取引貸証券	20,896百万円
信用取引借入金の本担保証券	16,437百万円
差入保証金代用有価証券	12,886百万円
差入れを受けている有価証券の時価額	
信用取引貸付金の本担保証券	25,563百万円
信用取引借証券	13,901百万円
受入保証金代用有価証券	45,841百万円
(2) 担保に供されている資産	
担保に供している資産	
現金及び預金	3,333百万円
担保に係る債務	
銀行による保証額	10,000百万円
(3) 商品有価証券等の内訳	
株式	60百万円
債券	97百万円
(4) 有形固定資産の減価償却累計額	
建物	105百万円
器具備品	680百万円
リース資産	111百万円
(5) 関係会社に対する金銭債権	
短期金銭債権	6百万円
(6) 関係会社に対する金銭債務	
短期金銭債務	241百万円
長期金銭債務	2百万円

#### 5. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高の総額	
営業取引による取引高の総額	93百万円
営業取引以外の取引による取引高の総額	7百万円

## 6. 株主資本等変動計算書に関する注記

### (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	前事業年度 末株式数 (株)	当事業年度 増加株式数 (株)	当事業年度 減少株式数 (株)	当事業年度 末株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	18,010,400	-	-	18,010,400
合計	18,010,400	-	-	18,010,400

### (2) 自己株式の種類および株式数に関する事項

該当事項はございません。

### (3) 配当に関する事項

#### 配当金支払額

決議	株式の種 類	配当金の総 額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成23年9月21 日臨時株主総会	普通株式	862	47.87	平成23年9月22日	平成23年9月22日
平成23年12月20 日臨時株主総会	普通株式	236	13.14	平成23年12月21日	平成23年12月21日
平成24年1月18 日臨時株主総会	普通株式	216	12.00	平成24年1月18日	平成24年1月18日
平成24年3月22 日臨時株主総会	普通株式	260	14.44	平成24年3月22日	平成24年3月22日

(注) 上記の他、平成24年1月18日臨時株主総会における決議により、関係会社株式の配当を行っており、当該関係会社株式の帳簿価額は以下のとおりであります。

株式会社シェアーズ 97百万円

GMOクリック・インベストメント株式会社 503百万円

基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

該当事項はございません。

### (4) 新株予約権(権利行使期間の初日が到来していないものを除く。)の目的となる株式の種類及び数に関する事項

該当事項はございません。

## 7. 税効果会計に関する注記

### (1) 繰延税金資産および繰延税金負債の発生 の主な原因別の内訳

繰延税金資産（流動）	
賞与引当金繰入超過額	96百万円
未払事業税	43百万円
特別報奨金否認額	29百万円
繰延資産償却超過額	18百万円
その他	43百万円
繰延税金資産（流動）小計	232百万円
繰延税金資産（固定）	
金融商品取引責任準備金繰入限度超過額	253百万円
貸倒引当金繰入限度超過額	76百万円
繰延資産償却超過額	46百万円
投資有価証券評価損否認額	35百万円
その他	2百万円
繰延税金資産（固定）小計	415百万円
繰延税金資産合計	647百万円

### (2) 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

法定実効税率	40.7%
（調整）	
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	1.8%
税率変更に伴う影響額	1.2%
税効果を認識しない一時差異	0.4%
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.1%
住民税均等割	0.1%
その他	0.3%
小計	0.3%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	40.4%

## 8. リースにより使用する固定資産に関する注記

ファイナンス・リース取引

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

外国為替証拠金取引システムにかかる電子計算機設備等（器具備品）であります。

リース資産の減価償却の方法

「1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記（2）固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりであります。

（1）リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額

	取得価額相当額 (百万円)	減価償却累計額相当額 (百万円)	期末残高相当額 (百万円)
器具備品	77	73	3
合計	77	73	3

（2）未経過リース料期末残高相当額

1年内	4百万円
合計	4百万円

（3）支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

支払リース料	27百万円
減価償却費相当額	24百万円
支払利息相当額	0百万円

（4）減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

（5）利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額の差額を利息相当額とし、各期への配分方法については利息法によっております。

## 9. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

#### 金融商品に対する取組方針

当社は、一般投資家に対する有価証券取引や外国為替証拠金取引等の金融商品取引サービスを提供することを主たる事業としております。当該業務から発生する資金負担に備えるため、当社は手元流動性の維持並びに複数の取引金融機関からコミットメントラインを取得することにより資金需要に備えております。その他、外国為替証拠金取引においてカウンターパーティーとの間のカバー取引に必要な差入証拠金の一部を、金融機関との支払保証契約に基づく保証状によって代用することにより、資金負担を軽減しております。

当社が提供する外国為替証拠金取引等店頭デリバティブ取引は、顧客との間で自己が取引の相手方となって取引を行うため、取引の都度、当社には外国為替その他のポジション（持ち高）が発生します。当社は発生したそれらのポジションの価格変動リスクを回避するため、カウンターパーティーその他の金融機関との間で適宜カバー取引を行っております。

#### 金融商品の内容、そのリスク及びリスク管理体制

当社が保有する金融商品は、有価証券関連業又は外国為替証拠金取引業に付随するものに大別され、信用リスク、流動性リスク、市場リスクを有しております。

#### イ. 有価証券関連業について

株式取引における信用取引及び株価指数先物・オプション取引において、顧客は取引額に対して一定の保証金（金銭又は有価証券）を当社に差し入れることで、取引を行っております。取引開始後、相場変動により顧客の評価損失が拡大あるいは代用有価証券の価値が下落し、顧客の担保額が必要額を下回った場合、当社は顧客に対して追加の担保差し入れ（追証）を求めますが、顧客がその支払に応じない場合、当社は顧客の取引を強制的に決済することで取引を解消します。

強制決済による決済損失が担保額を上回る場合は、顧客に対して超過損失分の金銭債権が生じることで、当該金銭債権について信用リスクが発生します。当社は、顧客に対して当該金銭債権の支払を求めますが、顧客がその支払に応じない場合、その不足額の全部又は一部が回収不能

となる可能性があります。

#### ロ．外国為替証拠金取引業について

顧客との間で行われる外国為替証拠金取引については、取引の都度、当社には外国為替のポジション（持ち高）が発生するため、そのポジションに対し市場リスク（為替変動リスク）を有することになります。

また、為替相場の急激な変動等の要因により、顧客が差入れている証拠金を超える損失が発生する可能性があり、この場合、顧客に対し超過損失分の金銭債権が生じることで、当該金銭債権について信用リスクが発生します。当社は、顧客に対して当該金銭債権の支払を求めますが、顧客がその支払に応じない場合、その不足額の全部又は一部が回収不能となる可能性があります。

これらのリスクに関して、当社は顧客との取引により生じる市場リスク（為替変動リスク）については、他の顧客の反対売買取引と相殺する店内マリーやカウンターパーティーとの間で反対売買を行うカバー取引を行うことでリスクの回避を図っております。ただし、システムトラブル等の原因によりカバー取引が適切に行われなかった場合やポジション管理の不備が生じた場合には、ヘッジが行われていないポジションについて為替変動リスクを有することとなります。

また、顧客との間で発生しうる信用リスクについては、顧客の証拠金維持率（顧客が保有する未決済ポジションに対する時価の証拠金の比率）が一定の値を下回った場合、未決済ポジションを強制決済する自動ロスカット制度を採用することにより、当該リスクの発生可能性を低減しております。

一方、カウンターパーティーとの間で行われる外国為替証拠金取引については、カウンターパーティーの意向によりカバー取引が実行できないという流動性リスクを有しております。また、カウンターパーティーに対する差入証拠金等の金銭債権について、カウンターパーティーの破綻等による信用リスクを有しております。

これらのリスクに関して、当社は流動性を確保するために複数のカウンターパーティーを選定することにより、流動性リスクを分散しております。また、為替変動リスクの管理として、保有しているポジション額を系統的に自動制御しているほか、1営業日に複数回、外国為替部門において、顧客との取引によって生じるポジション額、自己保有しているポジション額及びカウンターパーティーとの取引により生じるポ

ジション額が一致していることを確認しております。

また、カウンターパーティーの信用リスクに対しては、一定の格付けを有する等の基準によりカウンターパーティーを選別し、定期的に格付け情報の変更等の信用状況の変化を確認する等により与信管理を行っております。

#### 八．その他業務全般

関係諸法令の要求に基づき、顧客から預託を受けた金銭は信託銀行等へ信託を行う必要がありますが、当該信託財産は委託先である信託銀行等が破綻に陥った場合でも、信託法によりその財産は保全されることとなっており、信託銀行等の信用リスクからは遮断されております。

また、証券金融会社やカウンターパーティーへの預託が必要となる保証金及び証拠金の差入れや、取引等に基づく顧客資産の増減と信託の差替えタイミングのズレによる一時的な資金負担の増加に伴い流動性リスクが発生しますが、当社は手元流動性の維持に加え、複数の取引金融機関からコミットメントラインを取得し、急激な資金需要に備えております。

( 2 ) 金融商品の時価等に関する事項

平成 24 年 3 月 31 日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません（(注 2) 参照のこと。）。

( 単位：百万円 )

	貸借対照表 計上額	時価	差額
現金及び預金	9,400	9,400	
預託金	92,325	92,325	
トレーディング商品 商品有価証券等	158	158	
信用取引貸付金	25,587	25,587	
信用取引借証券担保金	14,100	14,100	
短期差入保証金（* 1）	18,765	18,765	
資産計	160,337	160,337	
信用取引借入金	16,507	16,507	
信用取引貸証券受入金	20,220	20,220	
預り金	8,333	8,333	
受入保証金	102,069	102,069	
短期借入金	7,190	7,190	
負債計	154,321	154,321	
デリバティブ取引（* 2、3） 有価証券関連 C F D 取引関係			
イ．トレーディング商品	(23)	(23)	
ロ．トレーディング商品	1	1	
ロ．短期差入保証金	1	1	
外国為替証拠金取引関係			
イ．外国為替証拠金取引顧客差金	6,444	6,444	
ロ．外国為替証拠金取引自己差金	(465)	(465)	
商品先物 C F D 取引関係			
イ．商品先物 C F D 取引顧客差金	0	0	
ロ．商品先物 C F D 取引自己差金	(0)	(0)	
ロ．短期差入保証金	(0)	(0)	
デリバティブ取引計	5,958	5,958	



- ( \* 1 ) デリバティブ取引の評価損益の一部については、取次証券会社に差入れている保証金内で値洗いが行われるため、これらの評価損益を加減した金額で記載しております。
- ( \* 2 ) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、( )で示しております。
- ( \* 3 ) 各取引において、「イ」は顧客とのデリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務を、「ロ」は取次証券会社またはカウンターパーティとのデリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務を表しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法及びデリバティブ取引に関する事項

#### 資 産

##### 現金及び預金

預金はすべて短期であるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

##### 預託金

顧客からの要求に応じて当社が支払義務を負う預り金及び受入保証金に応じて、毎営業日又は毎週水曜日に差替えを行っているため、決算日に要求された場合における引出額(帳簿価額)を時価とみなしております。

##### トレーディング商品 商品有価証券等

これらの時価について、株式は取引所の価格により、債券は取引金融機関から提示された価格によっております。なお、当事業年度の損益に含まれた評価差額は 13 百万円です。

##### 信用取引貸付金

顧客に対する信用取引貸付金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、帳簿価額を時価とみなしております。

##### 信用取引借証券担保金

証券金融会社に対する信用取引借証券担保金は日々値洗いが行われているため、時価は帳簿価額と近似していることから、帳簿価額を時価とみなしております。

#### 短期差入保証金

短期差入保証金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、帳簿価額を時価とみなしております。

### 負債

#### 信用取引借入金

証券金融会社からの信用取引借入金は日々値洗いが行われているため、時価は帳簿価額と近似していることから、帳簿価額を時価とみなしております。

#### 信用取引貸証券受入金

顧客から差入れを受けている信用取引貸証券受入金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、帳簿価額を時価とみなしております。

#### 預り金

顧客より預託を受けている預り金は、約定済未受渡資金等を除き、顧客からの要求に応じて当社が支払義務を負うため、決算日に要求された場合における支払額（帳簿価額）を時価とみなしております。

#### 受入保証金

顧客より預託を受けている受入保証金は、約定済未受渡資金や未決済ポジションに必要な担保額等を除き、顧客からの要求に応じて当社が支払義務を負うため、決算日に要求された場合における支払額（帳簿価額）を時価とみなしております。

#### 短期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

## デリバティブ取引

### 有価証券関連CFD取引関係

#### イ．顧客との取引（トレーディング商品）

顧客との間で行われている有価証券関連CFD取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

区分	種類	契約額等		時価 (*)	評価損益
			うち1年超		
株価指数 先物	売建	855		(39)	(39)
	買建	631		17	17
株式	売建	68		(1)	(1)
	買建	9		0	0
合計				(23)	(23)

(\*) 時価の算定方法 事業年度末の各取引所における最終取引価格により算定しております。

#### ロ．取次証券会社との取引（トレーディング商品及び短期差入保証金）

取次証券会社との間で行われている株価指数先物取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

区分	種類	契約額等		時価 (*)	評価損益
			うち1年超		
株価指数 先物	売建	204		1	1
	買建	427		1	1
合計				2	2

(\*) 時価の算定方法 事業年度末の各取引所における清算指数及び最終価格により算定しております。また、評価損益の一部については、取次証券会社に差入れている証拠金内で値洗いが行われているため、短期差入保証金勘定に含まれております。

外国為替証拠金取引関係

イ．顧客との取引（外国為替証拠金取引顧客差金）

顧客との間で行われている外国為替証拠金取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

区分	種類	契約額等		時価 （*）	評価損益
			うち1年超		
通貨	売建	157,290		2,781	2,781
	買建	97,953		3,662	3,662
合計				6,444	6,444

（\*）時価の算定方法 事業年度末の直物為替相場により算定しております。

ロ．カウンターパーティーとの取引（外国為替証拠金取引自己差金）

カウンターパーティーとの間で行われている外国為替証拠金取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

区分	種類	契約額等		時価 （*）	評価損益
			うち1年超		
通貨	売建	44,209		160	160
	買建	97,567		(626)	(626)
合計				(465)	(465)

（\*）時価の算定方法 事業年度末の直物為替相場により算定しております。

## 商品先物C F D取引関係

### イ．顧客との取引（商品先物C F D取引顧客差金）

顧客との間で行われている商品先物C F D取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

区分	種類	契約額等		時価 (*)	評価損益
			うち1年超		
商品先物	売建	379		1	1
	買建	257		(0)	(0)
合計				0	0

(\*) 時価の算定方法 事業年度末の各取引所における最終取引価格により算定しております。

### ロ．取次証券会社との取引（短期差入保証金）

取次証券会社との間で行われている商品先物取引について、取引の対象物の種類ごとの決算日における契約額、時価及び評価損益並びに当該時価の算定方法は、次のとおりであります。

（単位：百万円）

区分	種類	契約額等		時価 (*)	評価損益
			うち1年超		
商品先物	売建	39		(0)	(0)
	買建	150		(0)	(0)
合計				(0)	(0)

(\*) 時価の算定方法 事業年度末の各取引所における清算指数及び最終価格により算定しております。また、評価損益は、取次証券会社に差入れている証拠金内で値洗いが行われているため、短期差入保証金勘定に含まれております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	貸借対照表計上額
非上場株式(*1、2)	0
匿名組合出資金(*3)	15
子会社株式(*4)	513
合計	529

(\*1) 非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、時価開示の対象とはしていません。

(\*2) 非上場株式については、2百万円の減損処理を行っております。

(\*3) 匿名組合出資金については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、時価開示の対象とはしていません。

(\*4) 子会社株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、時価開示の対象とはしていません。

(注3) 金銭債権の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	5年超
現金及び預金	9,400	
預託金	92,322	3
信用取引貸付金	25,587	
信用取引借証券担保金	14,100	
短期差入保証金	18,765	
合計	160,175	3

(注4) 短期借入金及びその他の有利子負債の決算日後の返済予定額

(単位：百万円)

	1年以内
信用取引借入金	16,507
短期借入金	7,190
合計	23,697

10. 関連当事者との取引に関する注記

重要な取引はないため、記載を省略しております。

11. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	768円51銭
(2) 1株当たり当期純利益	189円14銭